

アーバンソリューションビジネスユニット

不動産分野、駅・街分野、生活・社会インフラ分野におけるさまざまな事業者に向けたサービス事業を強化するために新設されたのがアーバンソリューションビジネスユニット(以下、BU)です。IoTやビッグデータを利活用し、さまざまな事業者の課題解決を支援するほか、日立の複数ソリューションを束ねたトータルサービスで、事業者がエンドユーザーに提供する価値向上に貢献します。



執行役常務
アーバンソリューション
ビジネスユニット CEO 小林 圭三

■サービス向上に向けた打開策を提案

「まち」を支える事業者は、それぞれのエンドユーザーに対するサービス向上を、差別化や収益拡大に向けた重要な課題としてとらえています。例えば商業ビルを運営する不動産事業者なら、エレベーターや空調の運転最適化による管理コストの削減、安定的なテナント契約を担保する利用者サービスの充実などになります。また、駅・街分野の中心的存在でもある交通事業者であれば、いかに混雑を緩和して利便性を向上できるか、エキナカ施設へ誘導できるか、といったことに頭を悩ませています。そして生活・社会インフラ分野を担う電力・通信事業者、自治体などは、各種インフラの最適化に加え、住民満足度の向上を図るサービスの提供に知恵を絞っています。

■デジタル技術の活用で、課題解決や価値向上に貢献

こうした課題に対し、私たちアーバンソリューションBUは最先端クラスのデジタル技術を活用し、まちを支える事業者と協創することで、エンドユーザーへのサービス向上を大きなミッションと位置づけています。

例えば不動産分野であれば、ビルにお

けるさまざまな運用・管理データや人間行動データを解析し、利用者が心地よく感じるビルとなる最適化運用を実現することで不動産価値の向上に貢献できます。駅・街分野であれば、運行データや駅構内の人の流れを分析した結果をもとに設置したデジタルサイネージで、混雑を緩和できるルートへの誘導を図ったり、さらには決済サービスとの連携により利用者の利便性を向上させて周辺商業施設へ誘導したりすることにつながられます。ほかにも、国際空港において、海外からのお客さまに各国語で対応する案内ロボットサービスの提供や、鉄道・バス・タクシーといったモビリティと連携したスムーズな移動案内などの実現にも貢献できます。

日立の強みは、これらのサービスを実現する際に欠かせないさまざまな事業者のシステムを支える制御系システムを長年にわたって自社開発し、運用してきた経験があることです。さまざまな事業者のリアルな課題も十分に理解し、

解決できるノウハウの蓄積もあります。だからこそITとOTを融合した効果的なサービスやソリューションが提供できることが他社にはない日立の価値となります。

■トータルソリューションで価値を最大化

アーバンソリューションBUがめざすのは、これまで実績を積み上げてきた日立のノウハウやパートナー企業の個別最適のソリューションをつなぎ、まちを支える事業者に提供する価値を最大化していくことです。お客さまから「日立はモノだけでなく、こんな価値あるサービスまで提供してくれる会社になったね」と驚いていただけるよう、これからも常に一步先をいく提案で、安全・安心・快適なまちづくりに貢献していきたいと思ひます。



アーバンソリューションビジネスユニットの事業戦略

お問い合わせ先・情報提供サイト

(株)日立製作所 アーバンソリューションビジネスユニット
<http://social-innovation.hitachi.jp/>